

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	広島県	代表者名	永井匠		
担当者部署	DX推進チーム	連絡先電話番号	0825132471		
担当者役職	主任	担当者氏名	和宗夏生	連絡先E-mail	
住所	7308511 広島県広島市10-52				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	目的を明確に理解していただき、今ある要素を踏まえて最善の対応策をアドバイス頂けたから。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年1月16日	支援・助言（オンライン）	有	令和6年2月16日	1227
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年2月20日	支援・助言（オンライン）	9時00分	10時00分	
				活動時間（分）	60
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	BIツールを用いた職員向けのワークショップを計画しており、その中で実施するグループワークのテーマについてどのようなものが良いか決まっていなかった。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員のレベルに合い、興味をもって取り組んでもらえるグループワークのテーマを決める。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	各グループで異なるテーマで進める予定だったが、同じテーマで進めて、他のグループがどのような切り口で分析しているのかを実感するワークの方が初心者向けには良いというアドバイスを頂いた。また、取り扱うデータも見て頂き、具体的なワークの進め方のアドバイスも頂いた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	頂いたアドバイスを基に、各グループで同じテーマで進めることとした。ワークの進め方も、初心者向けにシンプルにデータ分析の一連の流れが体感できるようなものに組みなおした。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	ワークショップのワークの内容が決まった	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

